研究課題名

小児難治性潰瘍性大腸炎に対する糞便移植の有用性

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（承認番号　H29中倫小第50号）

研究実施についてのお知らせ

　沖縄県立中部病院　小児科では、小児難治性潰瘍性大腸炎に対する糞便移植の有用性に関する研究を実施しております。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成 29年 9月 4日

【研究課題名】

小児難治性潰瘍性大腸炎に対する糞便移植の有用性

【研究期間】

2015年8月～2017年7月末

【調査対象】

当院小児科にて潰瘍性大腸炎に対して糞便移植を施行した16歳未満の方

【研究目的・意義】

手術が必要と考えられる小児難治性潰瘍性大腸炎患者における糞便移植の臨床経験を報告し、その有用性を明らかにする。小児発症の潰瘍性大腸炎患者に対しての糞便移植施行例は、国内においても報告が少ない。また当院での施行例は、手術が必要と考えられる小児難治性潰瘍性大腸炎患者における糞便移植の効果を検証することであり、本邦において同じような研究報告はまだない

【研究の方法】

沖縄県立中部病院での単施設記述研究

2015年8月から2017年7月までの期間で, 糞便移植を施行した15歳以下の小児患者を対象に, 患者背景, 使用していた薬剤、罹患歴、入院歴、内視鏡所見、PUCAI score (Pediatric Ulcerative Colitis Activity Index)、ドナー背景、糞便移植の結果や合併症などを, 診療録を用いて後方視的に検討した。本研究は記述研究、症例報告であり、統計学的処理は施行する予定はない。

【個人情報の取扱い】

研究に用いられるデータは連結可能匿名化の処理がなされます。患者さんのお名前、住所などプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心ください。調査したデータは研究終了後、一定期間経過後に責任を持って破棄します。

また、今回の研究で得られた成果を学会や学術雑誌等で報告することがあります。

ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡ください。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

　この件に関しましてご質問などがございましたらご遠慮なくお尋ねください。

【研究機関】

沖縄県立中部病院小児科

【本研究に関する問い合わせ先】

セクション名・氏名・住所・電話番号 等

沖縄県立中部病院小児科　研究責任者　　吉年俊文　098-973-4111